

令和7年度 シラバス

愛媛県宇和島高等学校津島分校

教科	商業	科目	ビジネス基礎	単位数	2	学年	2年	類型	ビジネスコース
教科書	ビジネス基礎（実教出版）			副教材	全商ビジネス計算実務検定模擬試験問題集 3級（実教出版）				

学期	月	単元名	指導項目、内容		重視する評価の観点			学習のねらい・学習の目標・評価の観点	
					知	思	主		
1 学期	4	第1章 商業の学習とビジネス	1 いざビジネスの世界へ	①ビジネスの世界で活躍 ②ビジネスに必要な心構え ③しっかり楽しく学んでいこう		◎	○	学習のねらい 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成します。 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付け、職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養います。 職業人として必要な豊かな人間性を育み、自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。	
			2 私たちの社会とビジネス	①私たちの生活とビジネス ②社会を支えるビジネス ③産業構造の変化とビジネス		◎	○		
		第7章 ビジネス計算		④情報化とビジネス ⑤グローバル化とビジネス ⑥社会の課題とビジネス	◎	○			
	5		1 ビジネス計算の基礎	普通計算問題3級 電卓の基本操作	◎		○		
				電卓の基本操作	◎		○		
				電卓の基本操作 中間考査	◎	◎			
	6			①割合 普通計算練習	◎		○		
				②商品の数量と代価 普通計算練習	◎	○			
				③仕入原価と売価(販売価格) 普通計算練習	◎	○			
			2 ビジネス計算の応用	①度量衡の換算 普通計算練習	◎	○			
	7			②外国貨幣の換算 普通計算練習 期末考査	◎	◎			
				③利息の計算 普通計算練習	◎	○			
		総合練習問題(Ⅰ)	普通計算問題3級 ビジネス計算問題3級		◎	○			
					◎	○			
2 学期	8							学習の目標 ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	
	9	第2章 ビジネスとコミュニケーション	1 コミュニケーション	①コミュニケーションの役割 ②話し方と書き方		○	◎		
			2 ビジネスマナー	①ビジネスマナーの重要性 ②基本的なビジネスマナー ③場面に応じたビジネスマナー			◎		○
			3 情報の入手と活用	①情報の重要性和扱う際の注意点 ②情報の入手方法 ③情報の活用	○	◎			
	10		1 経済の仕組みとビジネス	①経済の主体とその活動 ②生産要素と希少性		◎	○		
				③トレード・オフと機会費用 ④価格の決定と変動の仕組み 中間考査	◎	◎			
		第7章 ビジネス計算	総合練習問題(Ⅱ)	普通計算問題3級 ビジネス計算問題3級	◎		○		
	11			普通計算問題3級 ビジネス計算問題3級	◎		○		
						◎			○
						◎			○
						◎			○
						◎			○
					◎		○		
12				期末考査	◎	◎			
	第4章 さまざまなビジネス	1 ビジネスの種類	①ものとサービス ②製造業 ③サービス業 ④製造のサービス化	◎		○			
				◎		○			
3 学期	1	第4章 さまざまなビジネス	2 小売業	①小売業のビジネス ②小売業の種類 ③小売業の新たな展開	◎		○	主体的に学習に取り組む態度 ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、ビジネスの創造と発展に責任をもって取り組もうとしている。	
			3 卸売業	①卸売業のビジネス ②卸売業の種類 ③卸売業の新たな展開		◎	○		
			4 物流業	①流通業のビジネス ②流通業の種類 ③流通業の新たな展開		◎	○		
			5 金融業	①金融業のビジネス ②金融業の種類 ③金融業の新たな展開		◎	○		
	2		6 情報通信業	①情報通信業のビジネス ②情報通信業の種類 ③情報通信業の新たな展開		◎	○		
		第5章 企業活動の基礎	1 ビジネスと企業	①企業とは ②経営組織の種類と運営 ③経営戦略 ④プロジェクト・マネジメント 学年末考査		◎	○		
	3				◎	◎			備考
			2 マーケティングの重要性	①マーケティングとは ②マーケティングの手順	○	◎			

※評価の観点 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

◆学習方法のポイント

【科目の特色】

- 身近な消費生活に興味・関心を持ち、常に新聞や雑誌、ニュースなどから情報を収集する習慣を身に付ける。
- 計算問題は解けば解くほど、計算能力の技能が向上します。家庭での学習習慣を身に付けましょう。

【授業】

- ビジネス基礎の授業は週に2時間あります。
- ビジネスに対する心構えやマナーを、授業の中でしっかりと身に付けること。まず、挨拶や言葉遣い、
- 1時間の授業の流れは、次のようになります。
 - ① ビジネスマナーの練習を行います。
 - ② 電卓計算問題演習を行います。
 - ③ 教科書の内容を確認して、要点を整理します。
- 覚えた語句を用いて問題を解くことが基本です。
- ノートは、板書に加えて、口頭で示された重要ポイントも記しておく、復習する時に役立ちます。

【家庭学習】

- 授業時間内に理解します。後で確認しようなどとは思わず、その時間内で理解し、必要なことは覚えましょう。
- ビジネス基礎の家庭学習は、復習を基本とします。授業で学習した内容は、その日のうちに復習してください。
- 当たり前のことですが、問題集、レポート、感想文などの課題は必ず提出すること。

【定期考査】

- 中間考査、期末考査を実施します。
- 語句の意味、表記などを正確に覚えることが基本になります。
- 電卓を用いた計算問題で技能を測ります。継続は力なりです。毎日の地道な練習を大事にしてください。
- ビジネス計算問題を解答するためには、問題を読む力と思考力が必要です。普段から粘り強く取り組む

◆評価の方法、基準

評価の方法	定期考査、授業への出席状況及び学習意欲、課題提出とその内容、ファイル等の整理状況を ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度の 三つの観点から総合的に評価します。			
評価の基準	1 学 期	中間考査・期末考査(主に①と②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) 印刷物・ファイルの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②と③の観点から評価します。)		
	2 学 期	中間考査・期末考査(主に①と②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) 印刷物・ファイルの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②と③の観点から評価します。) 検定試験への取組姿勢(主に③の観点から評価します。)		
	3 学 期	学年末考査(主に①と②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) 印刷物・ファイルの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②と③の観点から評価します。)		
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の成績を総合的に評価します。		